



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 阿部 雅栄 TEL 0258-92-4111
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,669	△2.7	149	△32.5	2,060	17.0	1,408	21.8
30年3月期第3四半期	18,162	4.1	221	△39.0	1,761	4.3	1,156	△11.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △1,818百万円 (ー%) 30年3月期第3四半期 8,476百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	251.40	—
30年3月期第3四半期	206.35	—

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	67,560	50,327	74.5	8,981.04
30年3月期	71,535	52,263	73.1	9,326.58

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 50,327百万円 30年3月期 52,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	△4.2	150	127.2	1,950	24.8	1,300	27.0	231.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	5,995,000株	30年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	391,233株	30年3月期	391,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	5,603,767株	30年3月期3Q	5,603,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化等から世界経済の陰りが指摘されるなか一服感もみられ、先行き不透明な状況が続いております。

米菓業界におきましては、原料米や物流費等のコストアップ要因と価格競争激化との狭間で、コスト重視対応と品質重視対応の二極化が進んでおります。

このような環境変化のなか、当社グループは、「米・技・心（品質こそ命）を体現しよう！」をスローガンに、引き続き品質重視の商品づくりに努めてまいりました。

営業部門では、他社との差別化戦略として国産米100%使用のアピールを強め、Top6商品の強化を図りました。また、新米仕込み企画商品を広く展開し、国産米の中でも「旬」を強く訴求することで、更なる岩塚ブランドの向上に努めてまいりました。

製造部門では、生産品目の絞り込みにより生産効率を高め、全社を挙げて不良低減に継続的に取り組むなど、製造原価の引き下げに努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、価格競争激化や燃料費等の製造費用が高騰するなか、値上の浸透や新商品の投入に努め、足元では回復傾向が見られるものの、売上高176億69百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益1億49百万円（前年同四半期比32.5%減）、経常利益20億60百万円（前年同四半期比17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億8百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

なお、経常利益に関しましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited.からの株式配当金17億68百万円を営業外収益の受取配当金に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は675億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億75百万円の減少となりました。

流動資産は68億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億64百万円の減少となりました。これは主に、売上債権が4億73百万円増加した一方で、その他に含めております一年内回収予定の長期貸付金8億58百万円を回収したこと等によるものであります。固定資産は606億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億11百万円の減少となりました。これは主に、その他に含めております長期貸付金が8億96百万円増加した一方で、投資有価証券が時価評価等により45億67百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、172億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億39百万円の減少となりました。

流動負債は、25億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億9百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が5億41百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は146億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億30百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い繰延税金負債が13億61百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、503億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億36百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が12億91百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が32億40百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年11月6日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,555	644,382
受取手形及び売掛金	4,038,893	4,512,238
商品及び製品	282,154	243,572
仕掛品	125,731	73,429
原材料及び貯蔵品	1,043,684	1,315,917
その他	1,044,520	178,408
貸倒引当金	△91,316	△79,883
流動資産合計	7,252,224	6,888,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,340,272	4,261,599
その他(純額)	3,995,990	4,175,209
有形固定資産合計	8,336,263	8,436,809
無形固定資産		
投資その他の資産	128,590	103,312
投資有価証券		
投資有価証券	55,283,019	50,715,619
その他	563,895	1,445,748
貸倒引当金	△28,131	△29,096
投資その他の資産合計	55,818,782	52,132,271
固定資産合計	64,283,636	60,672,392
資産合計	71,535,860	67,560,457
負債の部		
流動負債		
買掛金	668,745	709,779
短期借入金	541,550	—
未払法人税等	176,676	207,439
賞与引当金	229,144	100,839
その他	1,753,278	1,542,295
流動負債合計	3,369,394	2,560,354
固定負債		
退職給付に係る負債	1,113,583	1,151,524
繰延税金負債	14,265,274	12,903,960
その他	523,626	616,936
固定負債合計	15,902,485	14,672,422
負債合計	19,271,879	17,232,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	12,467,370	13,758,737
自己株式	△1,066,144	△1,066,144
株主資本合計	14,895,225	16,186,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,447,558	34,207,439
退職給付に係る調整累計額	△78,803	△66,351
その他の包括利益累計額合計	37,368,755	34,141,088
純資産合計	52,263,981	50,327,681
負債純資産合計	71,535,860	67,560,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	18,162,141	17,669,152
売上原価	11,192,621	11,114,890
売上総利益	6,969,520	6,554,262
販売費及び一般管理費	6,748,224	6,404,926
営業利益	221,295	149,336
営業外収益		
受取利息	32,724	32,018
受取配当金	1,450,968	1,799,673
その他	75,320	111,373
営業外収益合計	1,559,013	1,943,065
営業外費用		
支払利息	1,770	1,650
貸倒引当金繰入額	4,000	965
たな卸資産廃棄損	5,154	4,788
休止固定資産費用	6,902	22,559
その他	614	1,631
営業外費用合計	18,442	31,594
経常利益	1,761,866	2,060,807
特別利益		
固定資産売却益	2,029	23
投資有価証券売却益	0	632
特別利益合計	2,030	656
特別損失		
固定資産除却損	4,006	45,481
投資有価証券評価損	141,401	—
特別損失合計	145,407	45,481
税金等調整前四半期純利益	1,618,489	2,015,982
法人税、住民税及び事業税	403,336	549,160
法人税等調整額	58,835	58,030
法人税等合計	462,172	607,190
四半期純利益	1,156,316	1,408,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,156,316	1,408,792

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,156,316	1,408,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,309,036	△3,240,118
退職給付に係る調整額	11,558	12,452
その他の包括利益合計	7,320,595	△3,227,666
四半期包括利益	8,476,912	△1,818,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,476,912	△1,818,874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。